

中部フライアッシュ

中部フライアッシュはテクノ中部のブランドです



▶ 中部フライアッシュとは

火力発電所で石炭を燃焼した際に発生する灰の一部を、資源の3R (Reduce、Reuse、Recycle) を目指して、分級装置にてJIS規格に適合するよう加工し商品化しました。

※JIS規格II種 適合



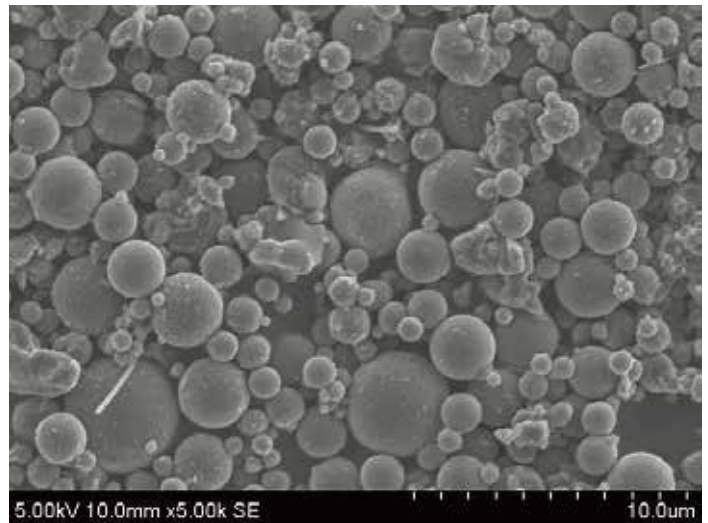
中部フライアッシュ

▶ 特長

フライアッシュは、顕微鏡で拡大すると球状を呈しており、コンクリートなどに混ぜると流動性の向上、水和発熱の低減、長期強度の増加など種々の特徴があることから、ダム、橋梁、発電所等大型構造物に使用されています。

また、フライアッシュの成分組成面に着目し、粘土代替としてセメント原料として大量に使用されています。

さらに近年ではその特性をいかし、建材、骨材、道路材、地盤改良材など土木・建築材料等広く各分野で利用されています。



フライアッシュ電子顕微鏡写真

▶ 品質 (化学的特性)

フライアッシュの主成分はシリカとアルミナで、セメントに混合すると、セメントの水和の際に生成される水酸化カルシウムと反応 (ポゾラン反応) して、耐久性と水密性を向上させる働きをします。

フライアッシュの化学組成例 (wt%)				
SiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	CaO	MgO
40 ~ 75	15 ~ 35	2 ~ 20	1 ~ 10	1 ~ 3

▶ 使用用途

- コンクリート混和材
- フライアッシュセメント
- 建築材
- スラリー材 (埋戻材・充填材)
- コンクリート二次製品



フライアッシュセメントを使用した中部電力川浦ダム

▶ 当社が供給する碧南産フライアッシュの品質規定

(株) JERA 碧南火力発電所は JISA 6201 の品質規定より更に厳しくした独自の品質規定を定め、良質なフライアッシュを供給しています。

JIS A 6201 (コンクリート用フライアッシュ)

JIS規格 Ⅱ種	化学成分			物理的性質					
	二酸化 けい素 含有量	湿分	強熱 減量	密度	粉末度		フロー 値比	活性度指数	
					網ふるい方法 45μm ふるい残分	ブレン方法 比表面積		28日	91日
	45.0% 以上	1.0% 以下	5.0% 以下	1.95g/cm ³ 以上	40% 以下	2,500cm ² /g 以上	95% 以上	80% 以上	90% 以上
碧南品質規定 (JIS規格Ⅱ種品)	45.0% 以上	0.5% 以下	3.5% 以下	1.95g/cm ³ 以上	40% 以下	3,500±450cm ² /g	95% 以上	80% 以上	90% 以上

▶ 荷姿

● ばら (ジェットパック車)



● フレコンバック (500~700kg/袋)



● 紙袋 (25kg/袋)



※詳細につきましてはお問い合わせください。

TCC 株式会社 テクノ中部

〒455-8512 愛知県名古屋市港区大江町3-12

■ 火力部 石炭灰グループ TEL 052-614-7189

ホームページ

<https://www.techno-chubu.co.jp>

テクノ中部

検索